



帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

初乳成分の高度利用技術の開発

著者	浦島 匡
発行年	2005-10
URL	http://id.nii.ac.jp/1588/00004046/

初乳成分の高度利用技術の開発

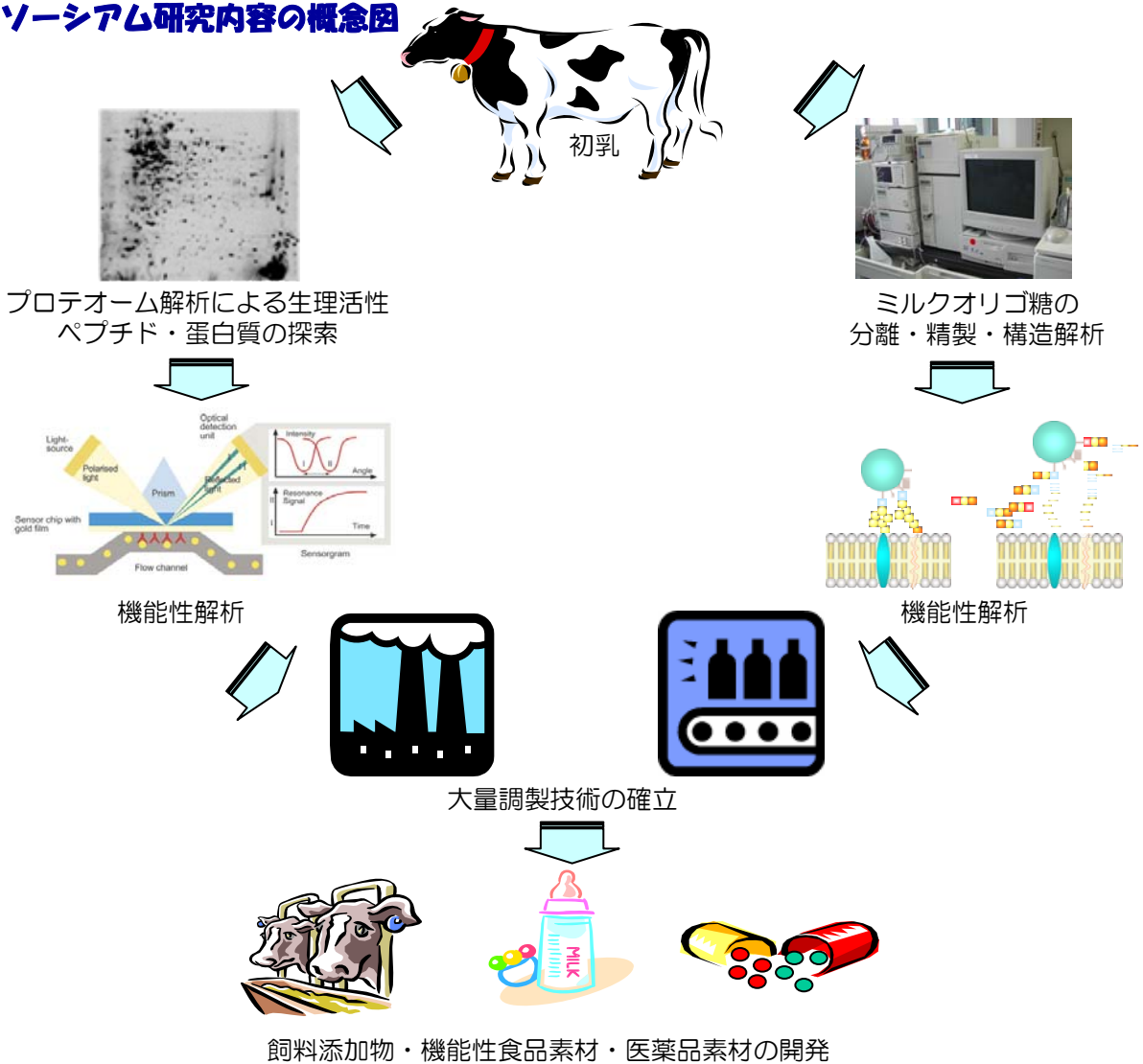
研究の概要

酪農産業における未利用資源としての初乳を回収する。初乳には感染から体を保護する機能物質、免疫を強化して疾病にかかりにくい体質を作る機能物質などが含まれているが、とくにシアル酸含有オリゴ糖の新たな生理機能を解明し、その利用技術を開発する。またシアル酸含有オリゴ糖を取り出し、化学修飾して機能性を解析する。これらの研究成果を活用して飼料添加物、機能性食品素材、医薬品素材を開発する。また初乳に含まれる新たな生理活性ペプチド・蛋白質を探索する。

期待される成果、効果

北海道内では、年間1.6トンのシアル酸含有オリゴ糖が初乳から得られる。これらを活用して、抗インフルエンザ関連医療素材、原虫感染予防・治療剤、機能性食品素材、免疫強化飼料などが開発される。初乳供給・利用基地として北海道経済基盤活性化に貢献できる。

コンソーシアム研究内容の概念図



本研究に関するお問い合わせ：帯広畜産大学大学院畜産科学研究科

教授 浦島 匡 urashima@obihiro.ac.jp